

1. 木質バイオマス関連情報

■シン・エナジー（株）（兵庫）、兵庫県朝来市で計画中の「生野銀山バイオマス発電所」において、ENTRENCO GMBH（ドイツ）グループ会社である BIOENERGIE WEGSCHEID GMBH（ドイツ、以下「BEW 社」）と木質ガス化熱電併給設備（CHP）及びその周辺設備の購入契約を 4 月 7 日付で締結。同発電所の出力は 900kW、原木消費予定量は約 10,000t/年。運営事業主体は生野銀山バイオマス（株）（兵庫）で、2024 年夏より発電を開始する計画。2023 年内に合併し、社名を Wegscheid Entrenco に変更する予定の ENTRENCO 社と BEW 社は、両社とも 50kW～150kW までの発電規模の木質ガス化 CHP を取り扱っており、最大 2MW までカスケード接続が可能。小規模ユニット型のため地域の木材供給可能量に合わせた設計ができ、また日本国内においても木質ガス化 CHP の設置からメンテナンス、トラブル対応まで、一気通貫で対応できるようになっている。全世界での稼働数は合わせて 130 台以上となるが、日本国内では木質ガス化発電の稼働率が低い事例が多く、生野銀山バイオマス発電所の開発では事業者のリスクを低減し事業の安定性を追求するため、発電所運営事業者に対し「発電機稼働率の保証」付きの契約の締結や「メンテナンス定額単価サービス」を提供する。シン・エナジーは今回 BEW 社と発電所完工に向けて協働し、今後は 1,000kW クラスの地産地消型発電所モデルの全国普及を加速させるとしている【シン・エナジー（株）：2023/04/21】
<https://symenergy.co.jp/news/release/20230421-7950.html?id=newsCategory>

■経産省資源エネルギー庁、各種エネルギー関係統計等を基に令和 3 年度の総合エネルギー統計確報を作成し、エネルギー需給実績（確報）として取りまとめ、公表。詳細は下記サイトを参照【経済産業省：2023/04/21】
<https://www.meti.go.jp/press/2023/04/20230421001/20230421001.html>

■環境省、国立研究開発法人国立環境研究所（茨城）と取りまとめた 2021 年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出・吸収量

（確報値）について公表。それによると 2021 年度の日本の温室効果ガスの排出・吸収量は 11 億 2,200 万 t（CO₂換算。以下同じ）で、前年度比 2.0%（2,150 万 t）の増加。排出量そのものは 11 億 7,000 万 t で、2020 年度比 2.0%の増加、2019 年度比で 3.3%の減少。日本は 2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度比 46%削減する目標を掲げる。2021 年度の実績は 2013 年度から 20.3%（2 億 8,530 万 t）減となり、このペースが続くと目標には届かない計算になる。この増加については、新型コロナウイルス感染症に起因する経済停滞からの回復により、エネルギー消費量が増加したこと等が主な要因。ただ排出量が増えたのは日本だけではなく、環境省が国連に提出されたデータを基に分析したところ、主要 7 カ国（G7）全ての国で排出量のリバウンドを確認している【Bloomberg、環境省：2023/04/21】
<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2023-04-21/RTE6RFT0AFB401>
https://www.env.go.jp/press/press_01477.html

■静岡県掛川市南部の西大谷川へ流出している鶏糞土砂の問題で、掛川市が 4 月 21 日の市議会全員協議会で、経営破綻して民事再生手続きが終了した採卵養鶏業者から事業承継した発電事業者が鶏ふんの撤去を計画し、県と協議を進めていると報告。事業者はバイオマス電力事業を計画しており、施設跡地で 2 年以内の稼働を目指しているという。市や県、住民代表らは 2 月に養鶏施設跡地で立ち入り確認を行い、3 月に事業者が地元報告会を開催。撤去工事の地元説明会を 4 月中旬に予定。市は「鶏ふんは産業廃棄物との認識で、事業者負担で処理する計画が進んでいる」としている【中日新聞：2023/04/22】
<https://www.chunichi.co.jp/article/676790>

■砕石や生コン製造、土木工事を手掛ける（株）ダイセン（愛知）が、木質バイオマス燃料用途に特化した早生樹の試験栽培に着手。グループ本社のある愛知県西尾市の耕作放棄地を借りこのほど、一般的な樹種より早く成長する樹木を植林。木質燃料のリサイクルを担っている大規模バイオマス発電所向けに

早ければ 5 年後の供給開始を見込む【中部経済新聞：2023/04/24】

https://www.chukei-news.co.jp/news/2023/04/24/OK0002304240401_01/

■環境省の「脱炭素先行地域」で相次ぐ交付金の大幅減額。環境省によると、脱炭素先行地域とは「2050 年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴う CO₂ 排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてその他の温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の 2030 年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域」。選ばれた自治体には、再生可能エネルギーを推進するためなどの交付金が優先的に配分される。昨年 4 月に第 1 回の地域として 26 件、同年 11 月に第 2 回として 20 件、今年 2 月に第 3 回として 16 件を選定し、全国 32 道府県 83 市町村の 62 提案を選定。このうち 1 回目の 26 地域の半数以上の 19 市域で給付される交付金が減額されていたことが判明。7 地域は 5 割を超える減額で、9 割以上減ったところも。環境省は減額の具体的な理由として、半導体不足の影響による資材調達や工事の遅れのほか、選定された後に事業内容が交付金の対象外だと判明したことなどを挙げている。西村環境大臣は、交付金制度の創設から間もなかったことから、自治体側の理解不足や環境省側の周知・確認不足等があったとし、再発防止のため確認の強化を指示【テレ朝 news:2023/04/24・2023/04/25、脱炭素地域づくり支援サイト】

https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000296713.html
https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000296813.html
<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/preceding-region/>

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会（東京）、令和 4 年度林野庁補助事業において作成した「木質バイオマス熱利用導入構想作成の手引き」を公表。同書は自治体の主導により熱利用体制を整え、地域の木質バイオマス熱利用導入構想を作成するための手順を整理したもの。下記サイトより閲覧・ダウンロード可【（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会：2023/04/25】

<https://jwba.or.jp/topics/update/topics20230425/>

■（株）sonraku（北海道）、北海道厚真町幌里地区で行う小型の木質バイオマス発電（分散型熱電併給システム＝CHP）の運転を開始。発電所名は「sonraku 厚真バイオマス発電所」。1 台当たりの発電は約 40kW で約 500t/年の小規模で運転するため、持続可能な範囲で活用することが可能。同社の CHP 機器は小型の建物内にチップを燃焼させるガス化装置、冷却・熱回収装置、ガスエンジン、エンジン排気冷却装置などを備え、発電とともに熱でチップを乾燥させることができる。政府は休眠預金等活用法に基づき、2009 年 1 月 1 日以降 10 年以上取引のない預金等（休眠預金等）を、社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度「休眠預金活用事業」を 2019 年度から開始。sonraku は事業運営団体である社会変革推進財団（SIIF）が公募した 2019 年度「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業～インパクトが持続的に創出されるエコシステム形成～」に助成金額は 5,485 万円で採択され、北海道士別市と勇払郡厚真町の 2 か所に CHP 事業のビジネスモデルを展開する計画に取り組んできた。同社が木質バイオマス CHP を展開するのは道内では厚真町が初。4 月 5 日から本格的に運転し、北海道電力ネットワーク（株）（北海道）に売電を開始。4 月 26 日には事業見学会を開催【北海道ニュースリンク：2023/04/27、北海道新聞：2023/05/04、社会変革推進財団】

<https://hokkaido-nl.jp/article/29119>
<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/841275>
https://www.siif.or.jp/case_study/janpia/
https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2022/01/SIIF%E4%BC%91%E7%9C%A0%E9%A0%90%E9%87%91%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%91%E3%82%AF%E3%83%88%E3%83%AC%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_S.pdf

■千葉県千葉市、都市型スポーツの世界大会「X Games Chiba 2023」で割り箸を回収して燃料化すると発表（4 月 28 日）。5 月 12～14 日に市内の ZOZO マリンスタジアムで開催される X ゲーム期間中、会場内には食材に県産ブランドを使用した特製焼きそばやいちごスムージー等、千葉の食を楽しめるフードエリアを開設。千葉市は昨年 11 月に環境省から県内初の脱炭素先行地域に選定されており、市民やイベント参加者が脱炭素化についての理解を深めるきっかけになるとして、世界的な同イベントの会場内外の飲食で発生する割りばしと串の回収・資源化事業を実施する。来場者へは分別を呼びかける。回収された

割りばし等は運搬・洗浄後、チップ化され、民間のバイオマス発電燃料として出荷する。将来千葉市動物公園では動物の飼育室の暖房などに使うガスボイラをバイオマスボイラに置き換える予定で、導入後は燃料チップを動物科学館の動物用暖房に活用する【日本経済新聞、千葉市：2023/04/28】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC286BM0Y3A420C2000000/>

<https://www.city.chiba.jp/somu/shichokoshitsu/hisho/hodo/documents/230428-2-1.pdf>

■(株)ユーグレナ(東京)、マレーシアのクアラルンプールに「熱帯バイオマス技術研究所」開設。マレーシアの気候と多様なバイオマスを活かして、ユーグレナなどの微細藻類、その他の藻類や植物など、バイオ燃料原料用途のバイオマス生産・利用の最大化・最適化を中心とする研究を実施するほか、マレーシアを含む ASEAN 圏におけるバイオマス関連の研究開発の推進を目指す。また、この熱帯バイオマス技術研究所の開設に伴い、「藻類エネルギー技術研究所」(三重)の機能を「熱帯バイオマス技術研究所」と「資源サーキュラー技術研究所」(佐賀)に移管する【(株)ユーグレナ：2023/05/01】

<https://www.euglena.jp/news/20230501/>

■大阪ガス(株)(大阪)100%子会社の Daigas エナジー(株)(大阪)、茶かすを燃料とするバイオマスボイラシステム「D-Bio Steam」を和歌山ノーキョー食品工業(株)(和歌山)海南工場に導入し、エネルギーサービスを開始。茶かすを主たる燃料としてオンサイトで自燃させて蒸気利用するバイオマスボイラシステムは国内初。同工場では麦茶飲料などを製造しているが、製造に伴い発生する茶かすは含水率が60~70%と高く安定燃焼させることが難しいため、従来は廃棄物として排出していた。Daigas エナジーは(株)大川原製作所(静岡)製の流動床炉と三浦工業(株)(愛媛)製の排ガスボイラを組み合わせ、自社の燃焼技術・廃棄物処理技術を活かしたバイオマスボイラシステム「D-Bio Steam」を構築。同システムにより茶かすの安定的な自燃と排ガスボイラで発生した蒸気の生産工程への利用が可能になるとともに工場の廃棄物量が約90%/年減少し、カーボンニュートラルな蒸気の利用で約600t/年のCO₂削減効果を見込む。同システムは茶かす以外にもコーヒーかすや廃菌床などを排出している工場への設置が可能であり、対象となる

顧客へ広く提案していく考え【Daigas エナジー(株)：2023/05/09】

<https://digitalpr.jp/r/70730>

■(株)タケエイ(東京)、グループ会社の(株)津軽バイオマス エナジー(青森)がもみ殻を造粒した固形燃料「モミガライト」を発電用燃料として活用できるスキーム構築に成功。平川市ライスセンターや平川市内糶摺り組合から排出されるもみ殻を集め、地元協力業者により造粒機でモミガライトにし、津軽バイオマスエナジーにバイオマス発電燃料として供給する。バイオマス発電燃料など脱炭素促進に使う輸入原料をもみ殻で代用する取り組みは青森県で相次いでおり、発電の燃焼効率を高める「助燃材」に使うPKSや、緑化を促す建設資材のピートモス(園芸培養土)の代わりに使われている。輸入コストを削減し、焼却処分されていたもみ殻の有効活用でCO₂排出の抑制にもなる。タケエイは、もみ殻はFITバイオマス燃料としてまだ認められていないため、これらの取り組みを基に次年度以降の認定を目指し関係各所に働きかけていくとしている【(株)タケエイ、日本経済新聞：2023/05/10】

https://www.takeei.co.jp/pdf/news_20230510.pdf

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC090EF0Z00C23A5000000/>

■バイオガス事業コンサルティングのバイオマスリサーチ(株)(北海道)、宮崎県と同県新富町との3者で家畜ふん尿などを活用した「集中型バイオガス発電」による資源循環システムの構築に関する連携協定を締結。家畜ふん尿や食品廃棄物等の原料からメタン発酵によりメタンガスを発生させ、燃料に使用する。集中型バイオガス発電は複数の経営体から家畜ふん尿を収集して行う方式で、現在南九州で稼働している例はない。県知事は「新富町で一つのモデルを作り、県全体に広がっていきたい」と述べている【北海道新聞：2023/05/10、バイオマスリサーチ(株)：2023/04/12、宮崎県：2023/04/17】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/843831>

<https://biomass-research.net/pg70.html#news2023.4.14>

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/koho/chijishitsu/photogalleries/2023/20230417144413.html>

■北海道の新ひだか町や静内農業高、しずない、みついしの両農協と日高農業改良普及センターの5団体が本年度、環境に配

慮した農地の土壌改良材として間伐材などを加熱して作る「バイオ炭」を活用する事業を実施へ。バイオ炭は農地に埋めると炭素を土壌に閉じ込める効果があり、CO₂排出削減が期待できる。町によると道内でバイオ炭を使った土壌改良の事例は少なく、まずは効果を検証する考えで6月から開始する予定【北海道新聞：2023/05/10】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/843657/>

■愛知県豊橋市、新興企業を資金面から応援する「スタートアップチャレンジ交付金」に採択した5社を発表。豊橋市を活動拠点として急成長を目指す起業初期のスタートアップを積極的に支援するため、2022年度に同交付金制度を創設。昨年度末にこの交付金の募集を行ったところ、市内外のスタートアップ10社が応募。審査により、豊橋市内外の将来有望な5社が第1回目の交付先として決定した。このうち1社あたりの上限額である250万円の支給が決まった(株)豊橋バイオマスソリューションズは、豊橋技術科学大学発のベンチャーで、社員食堂や畜産農家などで利用できる小型バイオマス発電プラントの設計や製造、販売を手がける。市は地域の事業者と連携するスタートアップ企業を増やし、新たなビジネス環境の整備を進めるとともに実証フィールドの提供先を探すなど、継続的に支援する【東日新聞：2023/05/12、豊橋市：2023/05/11】

<https://www.tonichi.net/news/index.php?id=101620>

<https://www.city.toyohashi.lg.jp/secure/102024/startup.pdf>

■北野建設(株)(長野)、出資する木質バイオマス発電運営事業者のソヤノウッドパワー(株)(長野、以下「SWP社」)の業績が低調だとして、債務保証損失引当金7億5,300万円を特別損失として2023年3月期連結決算に計上。SWP社の借り入れ返済資金が不足した場合資金を提供する必要があり、「保守的な見地」から将来の損失に備えたとしている。SWP社には征矢野建材(株)(長野)や九電みらいエナジー(株)(福岡)、八十二キャピタル(株)(長野)等北野建設を含め6者が出資し、2014年3月に設立。長野県や塩尻市と連携して木材加工施設と木質バイオマス発電所の両輪で長野県産木材の有効活用を目指す「信州F・パワープロジェクト」に取り組み、2020年10月に同県塩尻市にてバイオマス発電所の営業運転を開始。木材加工施設における製材及び製品時の端材をチップ加工してバイオマス発電所の燃料としている。発電出力は14,500kW、発電量は約9,500万kWh/年(一般家庭の約32,000世帯相当)を

想定しており、中部電力(株)(愛知)に売電し29億円/年の売り上げを目指す計画だった。北野建設の出資額は1億円。債務保証損失引当金はSWP社の燃料調達が困難な状況にあり、今後も長期化が予想されるとして繰り入れた【信濃毎日新聞：2023/05/13、北野建設(株)：2023/05/12、ソヤノウッドパワー(株)】

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2023051300054>

<http://www.kitano.co.jp/news/docs/2022/IR2023051201.pdf>

<https://soyano-woodpower.jp/company/>

■イーレックス(株)(東京)代表取締役の本名均氏が、ベトナム政府本部においてベトナムのチャン副首相と会談(5月5日)。チャン副首相はベトナム国内における同社のバイオマス発電事業に関わる投資決定を高く評価するとともに、同社のバイオマスプロジェクトが成功するようアドバイスした【PR TIMES：2023/05/15】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000132.000029914.html>

■ENEOSバイオマスパワー室蘭合同会社(北海道)が運営する室蘭バイオマス発電所で、定期点検工事(SD)を開始。5月15日にはSDの安全大会を開催。燃料にPKSを使う同発電所は2020年5月に商業運転を開始。年1回SDを行っている。発電端出力は74,900kW、発電量は約6億kWh/年。発電した電気はFITを活用して北海道電力ネットワーク(株)(北海道)に売電している。SDはピーク時には200人/日が作業にあたる計画で、PKSを貯蔵するチップヤードや燃焼させる火炉などの点検作業を6月16日まで行う予定【北海道新聞：2023/05/15、北海道ニュースリンク：2023/05/16、ENEOSバイオマスパワー室蘭合同会社】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/846071/>

<https://hokkaido-nl.jp/article/29323>

<https://www.ebpm.co.jp/facility/>

■廃棄物処理大手の大栄環境(株)(本部・兵庫)、兵庫県三木市に木くずなどのバイオマス資源と各種廃棄物を混焼して発電する施設「三木バイオマスファクトリー」を完成。同社の三木リサイクルセンター内に建設。約1万5,000㎡の敷地にボイラ棟やタービン棟などを設置し、従来の焼却炉よりも発電効率を高めた。発電能力1万1,700kWで、一般家庭約2万8千世

帯分に相当。FIT を利用し 20 年間関西電力送配電（株）（大阪）に売電する。温熱の利用も検討中。木質燃料の安定調達が難しいため、同社が受け入れる廃プラスチックなどとの混焼にしており、将来的にはバイオマスの比率を高めていく。6 月に運転開始予定【ひょうご経済+：2023/05/16】

<https://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/202305/0016355922.shtml>

■（株）タクマ（兵庫）、パワーエイド三重合同会社（三重）向けバイオマス発電プラントを受注。合同会社はバイオマスパワーテクノロジーズ（株）（三重）が中心となり設立。発電所名は、「パワーエイド三重シン・バイオマスTM松阪発電所」で、三重県松阪市にあるウッドピア松阪内に建設する。木材・製造業生産副産物、廃プラスチックと古紙を原料とする RPF 等を燃料として使用し、1,990kW の発電を行う。発電した電力は地産地消型エネルギーとして、国民負担に依存しない完全 NON-FIT で活用する。タクマの契約期間は 2022 年 6 月～2024 年度冬【（株）タクマ：2023/05/16】

<https://www.takuma.co.jp/news/2023/20230516.html>

■フォレストエナジー（株）（東京）とボルター秋田（株）（秋田）、5 月 1 日に連名で小型木質バイオマス熱電併給設備「VOLTER」事業の統合完了についてリリース。ボルター秋田が 2023 年 4 月 28 日付で VOLTER に関する事業をフォレストエナジーに譲渡。また同日付でボルター秋田の北秋田市の事務所を「フォレストエナジーカスタマーセンター」として営業開始。両社は 2018 年 11 月に業務提携し、フィンランド製 VOLTER の販売代理店として販売とメンテナンスを連携して進めてきた。2022 年には日本国内での導入台数は 50 台超に。本年以降さらに導入台数が増えていく見通しであるため、販売及びメンテナンス事業をさらに充実させるべく VOLTER に関連する事業をフォレストエナジーに集約することで合意した。事業譲渡に伴い、ボルター秋田の従業員全員はフォレストエナジーに移籍する【OSR No.561：2023/05/17、フォレストエナジー（株）：2023/05/01】

<https://forestenergy.jp/2023/05/01/volterakita/>

■北海道浜中町がバイオガス発電プラント 2 カ所新設へ。同町は昨年 3 月にゼロカーボンシティを宣言。9 月には町内の第三地区と姉別地区に集中型バイオガスプラントを設けることを

前提とした、バイオマス産業都市構想を策定。今年 1 月には農水省からバイオマス産業都市として選定された。構想によると第三地区は 33 戸の酪農家から発生するふん尿 9 万 1,373t/年を原料とし、年間発電可能量を 1,096 万 501kWh、年間売電収入を 2 億 3,180 万 9,000 円と見込む。姉別地区は 17 戸の酪農家から 4 万 2938t/年のふん尿を受け入れ、年間発電可能量 360 万 1,498kWh、年間売電収入を 1 億 1,344 万 7,000 円と試算。家畜ふん尿のほか、町内で発生する下水汚泥や水産廃棄物、食品残さなども原料として利用できるか検討する。処理後の液体は液肥に、固体は敷料にして酪農家へ還元。プラントで発生する余剰熱を活用した施設園芸の展開も視野に入れている。同町は 6 月に先進地を視察し、7 月にもバイオマス推進協議会を設立する予定。酪農家等への意向調査も並行して進めながら議論し、早ければ年内に概要を固め、北海道電力ネットワークへの接続検討申し込みを済ませる意向【北海道建設新聞社：2023/05/19】

<https://e-kensin.net/news/157412.html>

■ハイパーグラフィック（株）（宮城）、宮城県柴田郡川崎町で運営する蔵王薪製造場の敷地内でクラフトビール醸造所「Forest Brewing」立ち上げに向けて準備中。蔵王薪は、日本に初導入のオーストリア製大型薪プロセッサーを使用し薪を製造。薪を生産していく中で、大量に発生する商品にならない規格外の薪（曲がり・節・細枝・半端材・製材カス等）をビールづくりに活用したいと考えた。ビールづくりは煮炊きから始まり、大量の熱エネルギーを要することから、北米で普及している HeatMasterSS 社の薪ボイラ（Wood Furnace）を導入し、ビール醸造に必要な熱量の大部分をまかなえないか考え、薪ボイラ導入に必要な費用の総額約 800 万円を 6 月上旬までクラウドファンディングを通して募っている。予定では今年 8 月に薪ボイラを購入・輸入し、9 月に設置。9 月下旬に薪エネルギーを活用しクラフトビール醸造を開始。10 月には薪ボイラ活用のクラフトビール等、クラウドファンディングのコースに応じたリターン品を発送予定【Forest Brewing、CAMPFIRE】

<https://forestbrewing.jp/>

https://camp-fire.jp/projects/view/631924?list=coming_soon

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■(株)内外出版社(東京)、特許取得のソロキャンパー向けペレット状の国産炭『Pelletan』(以下、ペレ炭)をAmazonで発売開始。①即着火・即おき火:1人分(80g)の着火にかかる時間はわずか30秒。着火と同時におき火状態となるため、網が温まり次第BBQを開始できる。②特許取得:ペレット炭の燃焼方法とその開発装置を(株)もくねん(埼玉)が独自に開発。③エコな国産原料:埼玉県飯能市で建築用に製材される際に発生するスギ、ヒノキの樹皮を原材料に使用。④2種の火力:比較的低温調理向けの「Pelletan300」と、一般的な焼き物全般に対応する「Pelletan500」の2種類を用意。⑤1人分80gで約30分燃焼持続:燃焼時間を延長したい場合は網の上からペレ炭を追加するだけでOK。⑥燃え尽きるから片付けも簡単:ペレ炭は1粒が非常に小さいため、着火から約1時間で完全燃焼し、片づけ可能。最後まで燃え尽きるため一般的な炭よりも灰の量が少ない、といった特徴を持つ。「Pelletan300」、「Pelletan500」共1袋80gで各550円(税込)。NAIGAI SHOPのほか、4月下旬よりAmazonでも購入可能に【PR TIMES:2023/04/24、NAIGAI SHOP、Pelletan】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000307.000021817.html>

<https://www.naigai-shop.com/SHOP/N990069ZZZC.html>

<https://pelletan.jp/#store>

■(株)伊藤園(東京)、シン・エナジー(株)(兵庫)、くしま木質バイオマス(株)(宮崎)、(株)堀口園(鹿児島)、鹿児島堀口製茶(有)(鹿児島)の5社共同で、「バイオ炭」の茶園散布による温暖化対策効果の評価試験を2023年春より開始。「バイオ炭」の農地施用は、農水省が策定した「みどりの食料システム戦略」において地球温暖化対策の手法として開発を推進されている取組み。くしま木質バイオマスが宮崎県串間市で運営する大生黒潮発電所は2018年3月竣工。ブルクハルト社(ドイツ)製小型高効率木質バイオマス熱電併給システム10基とアクセスエナジー社(USA)製の温水バイナリー発電システム1基を備え、県内の未利用木材(スギ、ヒノキ等)約19,000t/年を同じ敷地内にある製造工場ではペレットにし、燃料として使用。発電量は1,940kW、年間発電量は一般家庭約4,000世帯分相当。この大生黒潮発電所において産出する難分解性の炭素を含む炭「バイオ炭」を、堀口園及び鹿児島堀口製茶が展開する

志布志市にある約50haの茶園で試験的に散布し影響を評価。また温暖化対策効果のみならず、茶園の土壌改良効果(透水性、保水性、保肥性、通気性など)を通じた茶の収穫及び品質に対する影響を評価し、茶の生産性向上にも貢献することを検証する【(株)伊藤園:2023/04/26、くしま木質バイオマス(株)、PR TIMES:2018/03/15】

<https://www.itoen.co.jp/news/article/50373/>

<https://www.kushimabiomass.com/>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000025041.html>

■静岡県小山町、2022年度木質バイオマス発電事業特別会計の歳入が歳出に対して不足するため、2023年度の歳入から2,500万円を繰り上げて充用するための特別会計補正予算を専決処分したと発表(4月26日)。同町は地域活性化と林業の発展を目指し、地域から出る未利用の間伐材で製造した木質ペレットを燃料としたバイオマス発電所「森の金太郎発電所」を建設し、2018年9月に稼働。発電設備はドイツのブルクハルト社製で、発電能力180W、熱供給能力270kW。発電した電力はFITで東京電力に売電。将来的には排熱を有効活用することも視野に入れていた。しかし2020年7月4日に火災が発生。2022年1月まで稼働を停止していたこと等による収入不足の累積が発生しているという。発電所は再開以降は安定した稼働率を維持している【あなたの静岡新聞:2023/04/27、メガソーラービジネス:2021/01/28】

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1231412.html>

<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/feature/00002/00061/?ST=msb&P=1>

■長野県生坂村、環境省の「脱炭素先行地域」に。「脱炭素先行地域」とは、国が掲げる2050年カーボンニュートラルに向けて民生部門の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等を含めてその他の温室効果ガス排出削減についても国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域。今回が3回目の選定で4月28日に発表された。生坂村はオンサイトPPAにより太陽光発電・蓄電池を最大限導入するとともにオフサイトPPAにより電力を供給。ブドウ園場や主要民間施設等を対象に民間裨益型自営線マイクロ

グリッドを構築することで自律的な電力供給体制を確保しながら村全域の脱炭素を図る。その他木質ペレット工場の建設や家庭等へのペレットストーブ導入により、村内の林業構築も図る予定【中日新聞：2023/04/29、生坂村：2023/04/28】

<https://www.chunichi.co.jp/article/681393>

http://www.village.ikusaka.nagano.jp/gyousei/muradukuri/datutanso_senkoutiiki.html

■千葉県袖ヶ浦市のコンビナート地区にある「袖ヶ浦バイオマス発電所」の燃料貯蔵サイロ内で今年元日に火災が発生してから4カ月となった5月1日、市が鎮火を確認したと発表。同発電所は大阪ガス（株）（大阪）100%出資のDaigas ガスアンドパワーソリューション（株）（大阪、以下「Daigas G&P Solution」）の関係会社である袖ヶ浦バイオマス発電（株）（大阪）が建設・試運転中だったもので、燃料貯蔵サイロ4基のうち、元日に1基から白煙が上がり異臭が発生。その消火作業を行っている中、同4日には別の1基でも白煙や異臭が発生。散水や窒素注入による鎮火活動が続けられていたが、白煙が確認されない状態が維持できていることからサイロ内部のペレットを採取し消防とともに調査を行い、鎮火したと判断。白煙の発生がなかった2基のサイロはペレットの搬出を完了済み。Daigas G&P Solutionは火災はサイロ内に貯蔵されたペレットが自然発酵した可能性があると考えており、今後は鎮火した2基のサイロからのペレット搬出作業を進めていくとともに詳細調査を進め、その結果を踏まえた再発防止策を検討していくとしている【産経新聞：2023/05/01、袖ヶ浦市、Daigas G&P Solution（株）：2023/05/02】

[https://www.sankei.com/article/20230501-](https://www.sankei.com/article/20230501-5N67VQ30INNE7HZBHAV4VIZ2NE/)

[5N67VQ30INNE7HZBHAV4VIZ2NE/](https://www.sankei.com/article/20230501-5N67VQ30INNE7HZBHAV4VIZ2NE/)

[https://www.city.sodegaura.lg.jp/soshiki/kankyo/isyuu-](https://www.city.sodegaura.lg.jp/soshiki/kankyo/isyuu-osirase.html)

[osirase.html](https://www.city.sodegaura.lg.jp/soshiki/kankyo/isyuu-osirase.html)

https://www.daigasgps.co.jp/emergency/1316008_13797.html

■不動産・建設事業の（株）クローバーホーム（千葉）、千葉県八街市で2023年秋の操業を目指して整備を進める小規模分散型のバイオマスガス化発電施設「クローバーホーム八街発電所」が2023年3月28日付けで経産省FIT制度の認定を取得したと発表。同事業を運営するグループ企業の（株）ジャパンフォレストパワー（本社・東京）が、高温多湿な日本の木材が原料でもタールなどの残留物が少なく、安定した品質の木質ペレット

を市場価格の約半分のコストで製造できるシステム開発に成功。このペレット製造装置（生産能力200kg/h）に20フィートコンテナ内に装備した外置きタイプのガス化発電装置（50kW 低圧）を組み合わせたものが、「小規模分散型木質ペレットガス化発電JFP-1システム」。ガス化発電装置は1台につき870kg/日のペレットを使用し、3台稼働させることが可能。システム全体で60%のエネルギー効率を実現。発電システムを全国各地へ提供可能とするパッケージ化の開発にも着手し、研究拠点の「八街工場」内に「クローバーホーム八街発電所」を開設した。6月初旬より企業・自治体向けに発電所の施設見学会を実施する予定【@Press：2023/05/10、（株）ジャパンフォレストパワー】

<https://www.atpress.ne.jp/news/353202>

<https://jfpower.co.jp/technology/>

■北海道広尾町、本年度に旧野塚小を活用し、町内外の人が交流できる「野塚交流館」の整備に着手。親子で遊べる「木のおもちゃ館」や家具工房、コワーキングスペース、カフェなどで構成。端材から出たおがくずを燃料にするペレットストーブと薪ストーブを計11台置く計画で、町の基幹産業である林業振興につなげる狙い。11月下旬の一部オープンを経て、来年春に全館オープンの予定【北海道新聞：2023/05/16、十勝毎日新聞：2023/05/24】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/846711>

<https://kachimai.jp/article/index.php?no=586080>

■（株）シーズ（福島）、木質ペレットを生産する工場（同）に導入したバイオガスコージェネレーション（熱電供給）装置の2号機が稼働。同社は福島県東白川郡棚倉町にある上台工場で、製材で発生するオガ粉から木質ペレット「奥久慈ペレット」を製造している【日刊工業新聞：2023/05/17】

<https://www.nikkan.co.jp/spaces/view/0070768>

■バイオマス燃料のブラックペレット、高炉用原料炭の代替材で鉄鋼業界が注目。鉄鉱石の補助還元材として使われている高炉吹き込み用（PCI）炭の代替材としての利用可能性が分かってきたため。PCIからの置き換えが進めば高炉操業でのCO₂排出量削減につながるとあって、欧州では活用する計画も【鉄鋼新聞：2023/05/17】

<https://www.japanmetaldaily.com/articles/-/127205>

■5月17日20時50分頃、鳥取県米子市にある米子バイオマス発電所の燃料貯留槽内で火災が発生。発電所を運営する米子バイオマス発電合同会社（鳥取）によると、ただちに消防に通報するとともにボイラを停止。消火活動を開始して同日23時50分頃鎮火を確認した。燃えたのは高さ約30m、直径約23mのコンクリートで出来た燃料貯留槽内のペレットで、約2㎡が焼けた。この火災によるけが人はなし。合同会社は三菱HCキャピタル（株）（東京）および中部電力（株）（愛知）、東急不動産（株）（東京）が各30%、シンエネルギー開発（株）（群馬）と三光（株）（鳥取）が各5%出資して2018年6月に設立。発電所は2022年4月運開。木質ペレットおよびPKSを燃料とし、発電出力54,500kW。想定年間発電電力量約3.9億kWh（一般家庭約12.5万世帯分相当）。燃料貯留槽は4つあり、今回火災が発生したのはその1つで発電所構外への影響はなかった。しかし3日後の5月20日午前5時20分頃、同じ燃料タンクで再度出火。約1時間後に消し止められた。合同会社は5月26日付で自社サイトにて、「火災は燃料貯留槽内のホワイトペレットが長期間保管されていたことにより自然発酵し、発火に至った可能性がある」と報じている。火災が発生した燃料貯留槽に散水および窒素注入を行い、発火を防止しながら内部に残った燃料の排出作業を実施。残り3台の燃料貯留槽は安全な状態と確認できたことから、これらの燃料を使用して6月1日から発電再開予定【TBS NEWS DIG:2023/05/17、米子バイオマス発電合同会社：2023/05/18、2023/05/26、Yahoo! Japan ニュース：2023/05/18、FNN プライムオンライン：2023/05/20】

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/491517?display=1>

<https://www.yonago-biomass.co.jp/>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5ef6825fb180a34fd8bfd95373283af6528a76ef>

<https://www.fnn.jp/articles/-/530937>

■イーレックス（株）（東京）、5月12日に中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）を公表。今後3年間で海外成長戦略の準備期間と位置付け、エネルギー事業を取り巻く新局面への対処と海外事業拡大に力を入れる。新潟県北蒲原で進めている非FIT（Non-FIT）大型バイオマス発電所についての進捗状況も公表。同発電所はロシアからのペレットやベトナム、フィリピン等で試験栽培している燃料用ソルガムを燃料とし、設備出力300MWと、石炭火発からの転換を除く新設としては世界最大級かつ世界初の超々臨界圧を採用する計画。ENEOS（株）（東

京）が所有していた新潟県北蒲原郡聖籠町東港近郊を建設予定地とし、環境アセスメントを行ってきた。しかし今回の中期経営計画の中で、「環境アセスメントにて、分析に一定期間が必要な指摘事項が生じたことなどからプロジェクトのスケジュールを変更」したと公表。本体工事着工時期を当初の2023年度中から2026年度に、営業運転開始予定を2026年度から2029年度に変更した【日刊木材新聞社：2023/05/19、イーレックス（株）：2023/05/12・2020/11/10、朝日新聞：2022/02/24】

https://jfpj.jp/mokuzai_news/26573

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9517/tdnet/2279502/00.pdf>

<https://www.erec.co.jp/news/pressrelease/1289/>

<https://www.asahi.com/articles/ASQ2R6W7FQ23U0HB002.html>

■（株）熊谷組（東京）、清本鉄工（株）（宮崎）と共同開発した脱炭素バイオマス燃料「ブラックバークペレット（以下「BBP」）」を2023年5月より製造・販売事業として着手。事業運営のため共同出資会社「ローカルエナジーシステム（株）」（大阪）を設立。製材時に発生し、廃棄物として扱われているバークを活用するため、2021年にバーク材を半炭化し廃油を特殊手法で含浸させた「BBP」を開発。熱量は石炭と同等水準の6,000kcal/kg。BBPの試験燃焼をした太平洋マテリアル（株）（本社・東京）や石炭火力発電事業者から一定の評価を得て製造拠点の建設着手に至った。建設予定地は愛媛県西条市で、敷地面積約12,000㎡。原料のバーク材は地域材を活用し、住友林業フォレストサービス（株）（東京）が調達を担う。製造能力は約3万t、設備投資額は約30億円。完成は2024年10月、販売開始は2025年2月の予定。またBBP研究・開発で得た半炭化技術・ノウハウをアジア諸国へ技術輸出し、現地にて半炭化ペレットを製造する事業構想を検討中。既にベトナム産アカシアを原料にした半炭化ペレットを試験製造し、国内の発電事業者への納入を開始【熊谷組：2023/05/22、清本鉄工（株）：2021/12/13、建設通信新聞：2023/05/23】

https://www.kumagaigumi.co.jp/news/2023/pr_20230522_bbp_1.html

https://www.kiyomoto.co.jp/news/press/post_24.html

<https://www.kensetsunews.com/archives/827002>

3. イベント情報（国内）

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。

※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■グリーン連合「グリーン連合シンポジウム」

2023年6月8日（木）

文京区民センター（3-A会議室）（東京都文京区）＋オンライン（Zoom ウェビナー）

<https://greenrengo.jp/archives/6288>

■日本エネルギー学会、他「日本エネルギー学会【リサイクル・バイオマス・ガス化】三部会(RGB)シンポジウム～カーボンニュートラルとエネルギー安定供給～ 一水素製造、水素利用、メタン発酵、メタネーションへの期待と位置づけ～」

2023年6月8日（木）

オンライン開催（ZOOM 予定）

<https://www.jie.or.jp/publics/index/905/>

■「森林と市民を結ぶ全国の集い2023」実行委員会「一第27回 森林と市民を結ぶ全国の集い2023ー続・森は誰のもの？～森林コモンズを活かす明日へ～」

2023年6月10日（土）～11日（日）

オンライン配信+10日のみ国立オリンピック記念青少年総合センターで参加も可

https://moridukuri.jp/forumnews/forest2023_commons

■（公財）国際緑化推進センター「海外の森林と林業セミナー：乾燥地植林／リモートセンシング」

2023年6月12日（月）

オンライン（Zoom ウェビナーを利用）

<https://jifpro.or.jp/infomation/21147/>

■（公社）国土緑化推進機構「『Forest Style ラボ』森林を活用した「企業研修」で拓く、VUCA時代の組織・人づくり～自律的・共創的な組織・人づくりに向けて～」

2023年6月13日（火）

TAKIVIVA（群馬県長野原町）またはオンライン

https://www.green.or.jp/event/forest-style-labo_2023/

■（公財）自然エネルギー財団「RE-Users サミット 2023 脱炭素に効果的な自然エネルギーの調達」

2023年6月14日（水）

虎ノ門ヒルズフォーラム ホールB（東京都港区）/オンライン Zoom Webiner

<https://www.renewable-ei.org/activities/events/20230614.php>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク第214回研究会「2022-2023年のバイオマス利用の最新動向（仮題）」

2023年6月17日（土）

オンライン

<https://www.npobin.net/activity/seminar.html>

■（公財）みやぎ・環境とくらしネットワーク（MELON）30周年記念事業「第27回 MELON フェスタ」

2023年6月17日（土）

せんだいメディアテーク1階オープンスクエア（宮城県仙台市）

<https://www.melon.or.jp/wp/2023/05/11/melonfesta27th/>

■（株）新社会システム総合研究所「脱炭素100先行地域におけるエネルギービジネス 分散型リソースを活用し如何にマネタイズするか」

2023年6月19日（月）

SSK セミナールーム（東京都港区）/Zoom/アーカイブ配信

<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=23304>

■NPO 法人農都会議「2023 総会記念講演会 森林は日本の宝物、林業は地域の宝物～地域の森林・林業・木材産業の可能性～」

2023年6月19日（月）

Zoom/港区立産業振興センター10F 研修室2（東京都港区）

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/395>

◎群馬県上野村「再生可能エネルギーダブル発電所ツアー～上野村バイオマス発電施設&神流川発電所～」

2023年6月28日(水)

高崎駅東口(群馬県高崎市、送迎希望者)か、森の体験館(上野村)に集合

<http://www.uenomura.jp/2023/05/post-690.html>

■(公財)SOMPO 環境財団「市民のための環境公開講座 2023 (1) 気候変動と水問題」

2023年7月5日(水)

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2023/>

◎群馬県上野村「再生可能エネルギーダブル発電所ツアー～上野村バイオマス発電施設&神流川発電所～」

2023年7月5日(水)

高崎駅東口(群馬県高崎市、送迎希望者)か、森の体験館(上野村)に集合

<http://www.uenomura.jp/2023/05/post-690.html>

■(公財)北九州観光コンベンション協会「エコテクノ 2023」

2023年7月5日(水)～7日(金)

西日本総合展示場(福岡県北九州市)

<https://eco-t.solution-expo.jp/>

■(公財)SOMPO 環境財団「市民のための環境公開講座 2023 (2) エネルギーの未来を考える」

2023年7月19日(水)

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2023/>

■BECC JAPAN「BECC JAPAN 2023」

2023年8月30日(水)

早稲田大学西早稲田キャンパス(東京)

<https://seeb.jp>

■環境省「地域脱炭素ネットワーキングイベント」

2023年8月31日(木)

東京国際フォーラム(東京都千代田区)

https://www.env.go.jp/press/press_01554.html

■(公財)SOMPO 環境財団「市民のための環境公開講座

2023 (4) 日本の森って、どんな森? 所有と利用と、その先へ」

2023年9月6日(水)

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2023/>

■RX Japan(株)スマートエネルギーWeek 秋「脱炭素経営 EXPO」

2023年9月13日(水)～15日(金)

幕張メッセ(千葉県千葉市)

<https://www.decarbonization-expo.jp/hub/ja-jp.html>

■RX Japan(株)スマートエネルギーWeek 秋「第1回グリーンファクトリーEXPO 秋～脱炭素・サステナブル工場の実現へ～」

2023年9月13日(水)～15日(金)

幕張メッセ(千葉県千葉市)

<https://www.fiweek.jp/autumn/ja-jp/about/gfe.html>

■(一社)日本能率協会「九州エネルギー技術革新 EXPO 2023」

2023年9月26日(火)～27日(水)

マリンメッセ福岡 B館(福岡県福岡市)

<https://www.jma.or.jp/infra/energy/outline/index.html>

■(一社)日本木工機械工業会「日本木工機械展 Mokkiten Japan 2023」

2023年10月5日(木)～7日(土)

ポートメッセなごや(愛知県名古屋市)

<https://mokkiten.com/>

■REIF Fukushima 2023 運営事務局「第12回 Fukushima 再生可能エネルギー産業フェア(REIF Fukushima 2023)」

2023年10月12日(木)～13日(金)

ビッグパレット Fukushima(福島県郡山市)

<https://reif-fukushima.jp/>

■（一社）日本能率協会「北海道エネルギー技術革新 EXPO 2023」
2023年10月18日（水）～19日（木）
アクセスサッポロ（北海道札幌市）
https://www.jma.or.jp/infra/energy/outline/index_h.html

■（一社）林業機械化協会「2023 第 46 回全国育樹祭開催記念行事 森林・林業・環境機械展示実演会」
2023年11月12日（日）～13日（月）
笠松運動公園（茨城県ひたちなか市）
<https://www.rinkikyo.or.jp/>

■RX Japan（株）関西スマートエネルギーWeek 秋「脱炭素経営 EXPO」
2023年11月15日（水）～17日（金）
インテックス大阪（大阪）
<https://www.decarbonization-expo.jp/osaka/ja-jp.html>

■（一社）日本能率協会「Japan Home & Building Show 2023」
2023年11月15日（水）～17日（金）
東京ビッグサイト東展示棟（東京都江東区）
<https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/>

■（一社）サステナブル経営推進機構、「エコプロ 2023」
2023年12月6日（水）～8日（金）
東京ビッグサイト東ホール（東京都江東区）
<https://messe.nikkei.co.jp/ep/>

■RX Japan(株)「第9回【国際】バイオマス展【春】」
2024年2月28日（水）～3月1日（金）
東京ビッグサイト（東京都江東区）
<https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/bm.html>

■RX Japan（株）スマートエネルギーWeek 春
2024年3月1日（水）～3日（金）
東京ビッグサイト（東京都江東区）
<https://www.wsew.jp/spring/ja-jp.html>

4. イベント情報（海外）

■EUBCE 2023
2023年6月5日（月）～8日（木）※9日（金）はテクニカルツアー
ボローニャ（イタリア）/オンライン
<https://www.eubce.com/>

■Expobiogaz
2023年6月7日（水）～8日（木）
ストラスブール（フランス）
<https://www.expo-biogaz.com/fr>

■ ENVEX 2023 - International Exhibition on Environmental Technology & Green Energy
2023年6月7日（水）～9日（金）
ソウル（韓国）
<https://www.envex.or.kr/eng/main/index.asp>

■Biodiesel & Renewable Diesel Summit
2023年6月12日（月）～14日（水）
ネブラスカ州オマハ（USA）
<https://few.bbiconferences.com/Biodiesel.html>

■Ethanol 101
2023年6月12日（月）
ネブラスカ州オマハ（USA）
https://few.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Ethanol_101_Preconference

■Carbon Capture & Storage Summit
2023年6月12日（月）
ネブラスカ州オマハ（USA）
http://fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Carbon_Capture_Storage_Summit

■2023 International Fuel Ethanol Workshop & Expo

2023年6月12日(月)～14日(水)

ネブラスカ州オマハ (USA)

<https://few.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagel=Home>

■3rd Biofuels Forum

2023年6月20日(火)～21日(水)

ベルリン (ドイツ)

<https://inventu.eu/biofuels-forum-2023/>

■WBA Spring webinar series programme “Technologies for efficient conversion of biomass to heat and power”

2023年6月22日(木)

Zoom

<https://www.worldbioenergy.org/news/709/47/WBA-releases-Spring-webinar-series-programme/>

■NETZERO LIVE 2023

2023年6月28日(水)～29日(金)

キングストン・アポン・ハル (UK)

<https://www.foresight.events/netzero-live>

■Argus Carbon Markets & Regulation Conference

2023年7月5日(水)～7日(金)

リスボン (ポルトガル)

<https://www.argusmedia.com/en/conferences-events-listing/carbon-markets-and-regulation>

■International Conference on Biorefinery and Biomanufacturing

2023年7月23日(日)～27日(木)

アテネ (ギリシャ)

<https://icb2023.scievent.com/>

■International Clean Energy Challenge

2023年7月24日(月)～28日(金)

シュピタル・アム・ピュールン (オーストリア)

<https://www.wsed.at/international-clean-energy-challenge-2023>

◎Svebio Fuel Market Day 2023

2023年9月6日(水)

ストックホルム (スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-day-2023/>

◎Advanced Biofuels Conference 2023

2023年9月20日(水)～21日(木)

イエーテボリ (スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2023/>

■Bioenergy Pavilion 2023

2023年10月4日(水)～6日(金)

グレーター・ノイダ (インド)

<https://biogas-india.com/bio-energy-pavilion-2023/>

■Biomass PowerON 2023

2023年10月11日(水)～12日(木)

ストックホルム (スウェーデン)

<https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2023,4,en,2,1,25.html>

■USIPA 2023 Conference

2023年10月16日(月)～18日(水)

フロリダ州マイアミ (USA)

<https://theusipa.org/2023-conference>

■All Energy Australia 2023

2023年10月25日(水)～26日(木)

メルボルン (オーストラリア)

<https://www.all-energy.com.au/en-gb.html>

■2023 UN Climate Change Conference (UNFCCC COP 28)

2023年11月30日(木)～12月12日(火)

アラブ首長国連邦

<https://sdg.iisd.org/events/2022-un-climate-change-conference-unfccc-cop-28/>

■Progress in Manure & Digestate

2023年12月5日(火)～7日(木)

オンライン

<https://ibbk-biogas.com/schedule/online-conference-progress-manure-digestate-treatment/>

■Progetto Fuoco

2024年2月28日(水)～3月2日(土)

ヴェローナ(イタリア)

<https://www.progettofuoco.com/en/>

■2024 International Biomass Conference & Expo

2024年3月4日(月)～6日(水)

ヴァージニア州リッチモンド(USA)

<https://2024->

ibce.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home

■WFES 2024 – World Future Energy Summit

2024年4月16日(火)～18日(木)

アブダビ(アラブ首長国連邦)

<https://www.worldfutureenergysummit.com/>

■BOILER 2024 | ABMA Boiler Technology Conference & Expo

2024年5月1日(水)～3日(金)

コロラド州デンバー(USA)

<https://abmaboilerexpo.com/>

5. 2023年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報(都道府県順)

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◇北見市「令和5年度木質ペレットストーブ等導入支援事業」

<https://www.city.kitami.lg.jp/administration/work/detail.php?content=11162>

◇津別町「木質ペレットストーブ購入補助費」

<https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/material/files/group/4/20230507.pdf>

【青森県】

◆八戸市「令和5年度八戸市木質バイオマス利活用促進事業補助金」

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/norinchi/kusanka/sangyo/3/19902.html>

【秋田県】

◇大館市「大館市ペレットストーブ設置費補助金事業」

<https://www.city.odate.lg.jp/city/handbook/handbook8/page42/p278>

【山形県】

◇寒河江市「令和5年度寒河江市再生可能エネルギー設備導入事業費補助金」

<https://www.city.sagae.yamagata.jp/kurashi/sumai/kankyousai/seienagy.files/R5youkou.pdf>

◇庄内町「令和5年度庄内町木質ペレットストーブ等導入支援事業」

https://www.town.shonai.lg.jp/kurashi/kurashi/zyuutaku/R5_pellet.html

◇白鷹町「令和5年度白鷹町再生可能エネルギー推進事業費補助金」

<https://www.town.shirataka.lg.jp/1203.htm>

◇西川町「令和5年度西川町薪ストーブ等利用拡大支援事業補助金」

<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/chomin/05/R5makiyoukou.pdf>

◇米沢市「木質バイオマス燃焼機器(ストーブ)設置事業費補助金」

<https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/6701.html>

【福島県】

◇喜多方市「令和5年度喜多方市自家消費型再生可能エネルギー設備等設置費補助金」

<https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kankyo/14385.html>

◇福島県木材協同組合連合会「令和5年度木質バイオマス利用ストーブ普及支援事業」

<https://www.fmokuren.jp/files/libs/339//202305191512263122.pdf>

【栃木県】

◇那珂川町「令和5年度那珂川町低炭素まちづくり推進設備等導入事業費補助金」

<https://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/life/kurashi/2023-0405-1911-23.html>

◇益子町「益子町住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金制度」

<https://www.town.mashiko.lg.jp/page/page001518.html>

【群馬県】

◆みなかみ町「みなかみ町薪ストーブ等購入費補助金」

<https://www.town.minakami.gunma.jp/industry/03hojyokin/2019-0424-1822-71.html>

※対象は薪ストーブ、薪ボイラ

【東京都】

◇稲城市「令和5年度稲城市カーボンニュートラル推進住宅設備等導入費補助金」

<https://www.city.inagi.tokyo.jp/smph/kankyo/tikyuuondanka/juutakuyousouenergy/soene.html>

※申請受付は7月開始予定

【新潟県】

◇糸魚川市「糸魚川市ペレットストーブ設置事業補助金」

<https://www.city.itoigawa.lg.jp/5637.htm>

◇魚沼市「再生可能エネルギー普及促進事業補助金」

<https://www.city.uonuma.lg.jp/page/2019.html>

◇柏崎市「低炭素型創エネ・省エネ機器導入補助金」

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/soshikiichiran/shiminseikatsubu/kankyoka/1/6/4/6590.html>

◇関川村「関川村木質バイオマスストーブ等設置補助金」

<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/life/3289/15/4394/index.html>

◇十日町市「十日町市再生可エネルギー活用促進費補助金」

<https://www.city.tokamachi.lg.jp/soshiki/kankyoenergybu/kankyoenergybu/oeiseika/3/gyomu/8469.html>

◇村上市「令和5年度村上市木質バイオマスストーブ設置費補助金」

<https://www.city.murakami.lg.jp/site/eco/shinene-biomass-r05.html>

【富山県】

◇小矢部市「小矢部市ペレットストーブ設置推進事業補助金」

<https://www.city.oyabe.toyama.jp/kurashi/1002145/1002169/1002176.html>

◇立山町「立山町環境保全型住宅設備普及促進事業」

https://www.town.tateyama.toyama.jp/soshikikarasagasu/juminka/kankyo_chiikianzenkakari/1/3/1288.html

◇南砺市「木質ペレットストーブ等設置事業補助金」

<https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=12585>

◇南砺市「ペレットストーブ用燃料購入費補助金」

<https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/service/detail.jsp?id=20558>

【長野県】

◆青木村「青木村薪・ペレットストーブ購入補助金」

http://www.vill.aoki.nagano.jp/asset/00032/gyousei/kensetsunorinka/shinseisho/kensetsu/suto-bu_hoijo_youkou.pdf

◆飯綱町「飯綱町森のエネルギー推進事業補助金」

<https://www.town.izuna.nagano.jp/docs/307.html>

◇箕輪町「令和5年度箕輪町ペレットストーブ等設置事業補助金」

https://www.town.minowa.lg.jp/sangyo/midori0001_2.html

【岐阜県】

◆岐阜県「清流の国ぎふ森林・環境基金事業（1）森林部門 木質バイオマス利用施設導入促進事業」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/214597.html>

【愛知県】

◆設楽町「設楽町木質バイオマスストーブ等購入設置補助制度」

<https://www.town.shitara.lg.jp/soshiki/5/1173.html>

【京都府】

◆京都府「京都府多様な再生可能エネルギー普及促進事業補助金」

<https://www.pref.kyoto.jp/energy/news/tayo.html>

【鳥取県】

◇倉吉市「令和5年度倉吉市薪ストーブ等導入事業補助金」

<https://www.city.kurayoshi.lg.jp/gyousei/div/seikatsu/kankyou/c749/>

【島根県】

◆大田市「令和5年度大田市木質燃料活用機器導入促進事業費補助金」

https://www.city.oda.lg.jp/update_info/7251

◇奥出雲町「奥出雲町新エネルギー設備導入促進事業奨励金」

<https://www.town.okuizumo.shimane.jp/www/contents/10010000410/index.html>

◇松江市「松江市再生可能エネルギー機器等導入促進事業補助金」

https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyoenergybu/kankyoenergyka/gomi_kankyo_pet/1/8/991.html

◇吉賀町「住宅用木質バイオマス熱利用設備導入促進事業費補助金」

https://www.town.yoshika.lg.jp/kurashi/josei/saiseikanou/y_wbiomass.html

【広島県】

◇安芸太田町「ペレットストーブ等購入補助金」

<https://www.akiota.jp/site/tetsuduki/1173.html>

◆北広島町「ゼロカーボンタウン推進加速化補助金」

<https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/14/36816.html>

◆神石高原町「ペレットストーブ等購入補助事業」

<http://www.jinsekigun.jp/town/formation/kankyoueisei/kankyoueisei/eco/stove/>

◆世羅町「再生可能エネルギー設備設置費補助金」

<https://www.town.sera.hiroshima.jp/soshiki/4/10059.html>

【山口県】

◇山口市「令和5年度山口市安心快適住まいる助成事業」

<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/63/134841.html>

6. 公募等情報（締切順）

■真如苑「2023年度真如苑環境保全・生物保護 市民活動助成 “地球・自然・いのちへ”」

公募期間 2023年5月1日（月）～6月5日（月）

https://epc.or.jp/pp_dept/grant/sinnyoen_josei_koubo_2023

■NEDO「2023年度「木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業」に係る公募について」

受付期間 2023年5月8日（月）～6月8日（木）

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100372.html

■京都府「京の森林文化を守り育てる支援事業」

募集期間 2023年4月3日(月)～6月9日(金)

<https://www.pref.kyoto.jp/shinrinhozen/moribunka.html>

■福島県「令和5年度福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金(地域活用型再生可能エネルギー導入支援事業)について」

1次締切:6月14日(水)

2次締切:7月26日(水)

3次締切:9月6日(水)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/katsuyo-r5.html>

■(一社)環境技術普及促進協会「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業(2)新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業に係る④再エネ熱利用・発電等の価格低減促進事業」

二次公募 2023年5月19日(金)～6月15日(木)

http://www.eta.or.jp/offering/23_01_netsu/230519.php

■北海道「令和5年度木質バイオマスゼロカーボン推進事業委託業務に係る総合評価一般競争入札実施のお知らせ」

企画提案書の提出期限 2023年6月16日(金)

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/03_biomass/r5_biomass_koukoku.html

■農林中央金庫「『農中森力(もりぢから)基金』第10回助成事業の募集について」

募集期間 2023年4月3日(月)～6月30日(金)

<https://www.nochutb.co.jp/csr/index.html>

■愛媛県「令和5年度愛媛県廃棄物系バイオマス活用設備導入促進支援事業費補助金」

受付期間 2023年5月8日(月)～6月30日(金)

<https://www.pref.ehime.jp/h15600/biomass/r05haikibutukeibio.html>

■NEDO「2023年度「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」(未来型新エネ実証制度)に係る公募について」

受付期間 2023年5月16日(火)～6月30日(金)

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100379.html

■(一社)環境技術普及促進協会「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業(2)新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業に係る⑤熱分野・寒冷地での脱炭素化先行モデル創出事業」

一次公募 2023年5月22日(月)～6月30日(金)

二次公募 2023年7月14日(金)～8月10日(木)

http://www.eta.or.jp/offering/23_09_nemdl/230522.php

■(一社)環境共創イニシアチブ「令和4年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業(2次公募)」

公募期間 2023年5月25日(木)～2023年6月30日(金)

<https://sii.or.jp/senshin04r/overview2.html>

■(公財)SOMPO環境財団「2023年度学術研究助成」

応募締切 2023年6月30日(金)

<https://www.sompo-ef.org/academic/academic.html>

■(公財)滋賀県産業支援プラザ「令和5年度省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金」

1次締切:6月30日(金)

2次締切:7月31日(月)

3次締切:8月31日(木)

4次締切:9月29日(金)

最終締切:10月31日(火)

<https://www.shigaplaza.or.jp/hojokin-co2-230630/>

■環境省「令和5年度地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業の二次公募について」

受付期間 2023年5月26日(金)～7月6日(木)

https://www.env.go.jp/guide/kobo/kobo_00049.html

■大成建設「公益信託大成建設自然・歴史環境基金」

応募締切日 2023年7月28日(金)

<https://www.taisei.co.jp/corp/society/kikin/gist.html>

■(公社)環境生活文化機構「2023年度持続可能な社会づくり活動表彰募集」

応募締切 2023年8月31日(木)

<https://www.elco.or.jp/publics/index/29/>

■福島県「福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金（地域活用型再生可能エネルギー導入支援事業）について」

公募期間 2023年5月10日（水）～9月6日（水）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/katsuyo-r5.html>

■広島県「令和5年度広島県創エネ・省エネ設備導入促進補助金の公募のお知らせ（幼稚園・保育所・認定こども園等対象）」

受付期間 2023年12月28日まで

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/04setubihojokin.html>

■（公社）日本フィランソロピー協会「SDGs貢献プロジェクト」

受付 年2回（6月1～30日、12月1～31日）の期間内

<https://www.philanthropy.or.jp/jt/>

■栃木県「今すぐ始められる脱炭素の取組を紹介します！（脱炭素普及啓発事業）」

募集期間 2023年4月12日（水）～2024年2月中旬まで

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/hukyuukehatsu.html>

■長野県塩尻市「塩尻市木質バイオマス利用設備設置費等補助金（ペレットストーブ、ペレットボイラー用燃料）」

申請書受付期間 2023年4月3日（月）～2024年3月15日（金）

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/30/2997.html>

■兵庫県宍粟市「宍粟市再生可能エネルギー利用促進事業補助金（木質バイオマス燃料製造設備導入費用助成）」

受付期間 2023年4月3日（月）～2024年3月15日（金）

<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/sangyo/rinngyousinnkou/tanntoujyouhou/shinenerugi/1515747696234.html>

■農水省大臣官房環境バイオマス政策課「農林漁業バイオ燃料法に基づく事業計画、支援措置（固定資産税の特例等）」

固定資産税の特例の適用期限 ～2024年3月31日（日）まで

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

■長野県松本市「松本市再生可能エネルギー導入支援事業補助金」

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/4407.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸木質バイオマス暖房機等設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■滋賀県甲賀市「再生可能エネルギー地域導入促進事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/6567.htm>

■滋賀県甲賀市「甲賀市公共的施設等再生可能エネルギー導入事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/7406.htm>

■栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyuu/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>
※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」
<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>
※融資制度

■（公財）日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」
https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html
※融資制度

■神奈川県横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>
※融資制度

■富山県「脱炭素社会推進資金（再生可能エネルギー利用促進枠）」
<https://www.pref.toyama.jp/1300/sangyou/shoukoukensetsu/shoukouyou/kj00012293/kj00012293-008-01.html>
※融資制度

■富山県「富山県中小企業脱炭素社会推進資金環境施設整備枠融資制度」
<https://www.pref.toyama.jp/1705/kurashi/kankyoushizen/kankyou/kj00006264.html>
※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉縣市原市「市原市企業立地促進条例」
<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」
<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>

■（独）農林漁業信用基金「新たに林業・木材産業の事業を立ち上げる方（新たに開始する方、他産業から参入する方）への支援について（林業・木材産業の創業等支援保証）」
<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/default2022042214551.html>

■（独）農林漁業信用基金「林業・木材産業の複合経営を行う方への支援について（林業・木材産業複合経営化支援保証）」
<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/default2022042214150.html>